

IRミーティング

2012年3月期 第2四半期決算概要

科研製薬株式会社

2011年11月7日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

2012年3月期 第2四半期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2011年3月期 4-9月実績	2012年3月期 4-9月実績	増減	前年比 (%)
売上高	42,872	43,692	819	101.9
営業利益	7,328	7,906	577	107.9
経常利益	7,103	7,719	616	108.7
第2四半期 純利益	4,241	4,607	366	108.6

- アルツ、セプラフィルム、ジェネリック医薬品が伸長し増収に寄与
- 新たにクレキサンが売上に寄与
- 販管費：13,648百万円
対前同 387百万円の減少
- 中間配当は20円(2円増配)

連結貸借対照表の推移

借方

貸方

(百万円未満切捨)

	2011年 3月期末	2011年 9月末	増減		2011年 3月期末	2011年 9月末	増減
流動資産	56,885	56,391	▲494	流動負債	31,466	30,813	▲652
固定資産	41,607	40,841	▲765	固定負債	6,651	6,630	▲20
資産合計	98,493	97,232	▲1,260	負債合計	38,117	37,444	▲673
				純資産合計	60,375	59,788	▲586

主な内容 (百万円未満切捨)

◆資産 現金及び現金同等物：15,288百万円

◆負債 有利子負債：8,390百万円

◆純資産 利益剰余金：36,765百万円 (+ 2,959百万円)

自己株式：2011年9月末保有株式数 13,480千株 (+ 3,153千株)

取締役会決議による

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2011年3月期 4-9月実績	2012年3月期 4-9月実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,235	4,981
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,524	▲1,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲5,498	▲5,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,717	15,288

※ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益: 7,691百万円 (前同: 6,994百万円)

※ 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式取得額: 3,474百万円

配当金支払額: 1,646百万円

売上内訳(連結)

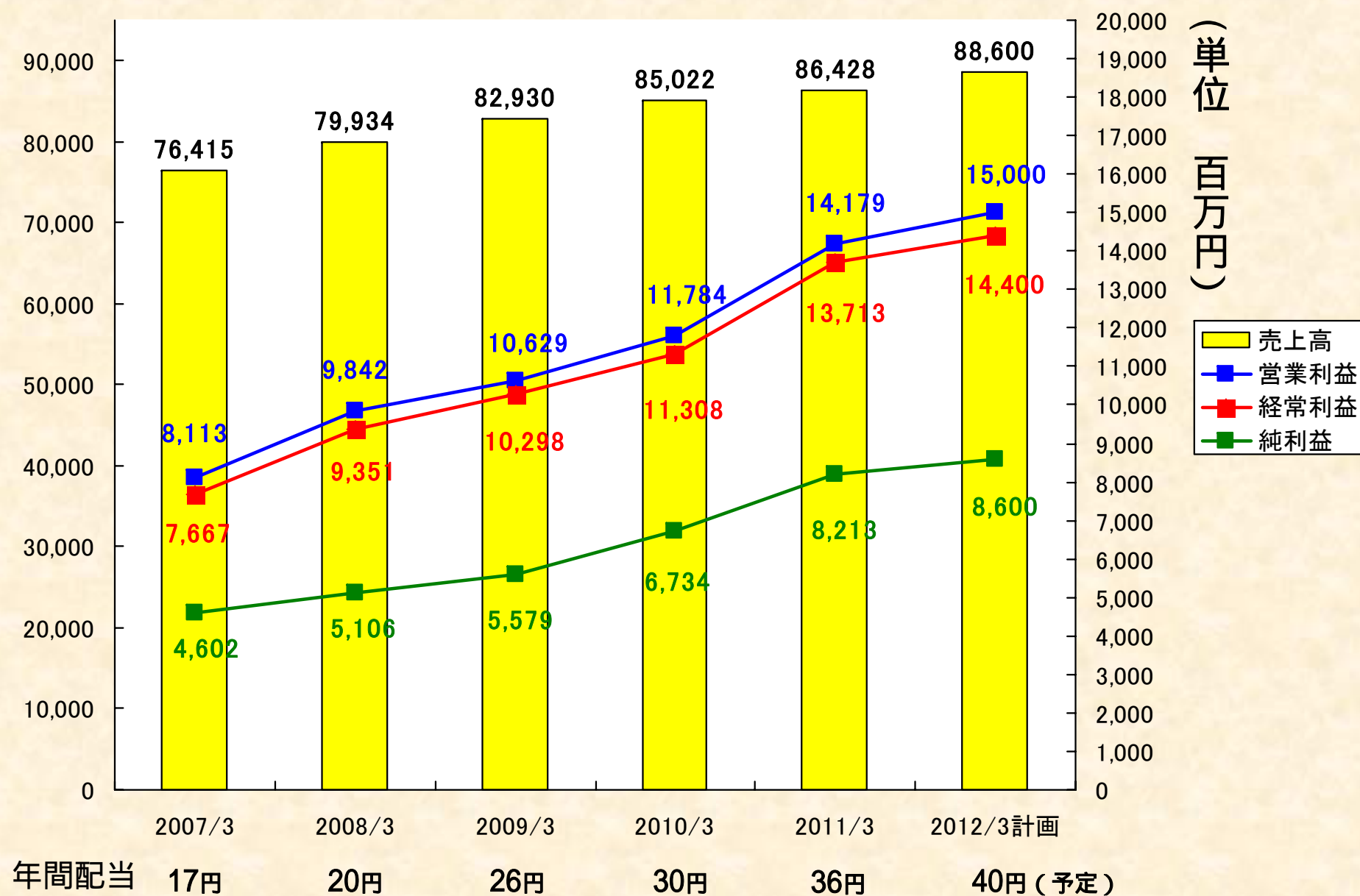
(百万円未満切捨)	2011年3月期 4-9月実績	2012年3月期 4-9月実績	増減	前年比 (%)
医療用医薬品・医療機器	38,256	39,058	802	102.1
農業薬品	1,395	1,447	51	103.7
不動産賃貸料	1,218	1,213	▲5	99.6
その他	2,002	1,973	▲29	98.5
合計	42,872	43,692	819	101.9

医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2011年 3月期 4-9月実績	2012年 3月期 4-9月実績	前年比 (%)
アルツ	15,827	16,481	104.1
セプラフィルム	4,646	4,955	106.6
アドフィード等	4,190	4,015	95.8
プロサイリン	3,032	2,813	92.8
リピディル	1,994	1,974	99.0
フィブラストスプレー	1,949	1,988	102.0
エブランチル	1,039	1,084	104.4
ジェネリック医薬品計	3,677	4,049	110.1

- ・アルツ
DTC活動の継続とともに、昨年発売したプラスチックシリンジにより、売上が伸長
- ・セプラフィルム
外科での消化器がん、産婦人科での帝王切開および婦人科がんへの使用拡大により伸長
- ・フィブラストスプレー
形成外科・救命救急での使用拡大により伸長
- ・エブランチル
神経因性膀胱に伴う排尿困難への使用拡大により伸長
- ・ジェネリック医薬品
既存の製品を中心に伸長

業績推移(連結)



開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	承認予定 (年)	備考
※ 1	KCB-1D	歯周病	申請準備中	2013	bFGF
2	KP-103 (IDP-108)	爪白癬	PⅢ	2013	外用剤 国際共同治験
3	KCB-1B	骨折	PⅡ終了 次相準備中		bFGF
4	TRK-100STP	腰部脊柱管狭窄症	PⅡ	2016	東レ社と共同開発 ベラプロストナトリウム徐放製剤 適応拡大

※: 前回ミーティングから変更のあったもの

2012年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2011年 3月期 実績	2012年 3月期 計画	増減	前年比 (%)
売上高	86,428	88,600	2,172	102.5
営業利益	14,179	15,000	821	105.8
経常利益	13,713	14,400	687	105.0
当期純利益	8,213	8,600	387	104.7

■ 通期損益計画は当初計画の通り

■ 期末配当は20円(2円増配)とし、年間40円(4円増配)を予定

■ 増収・増益・増配を継続

医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2011年 3月期 実績	2012年 3月期 計画	前年比 (%)
アルツ	30,840	33,100	107.3
セプラフィルム	9,580	10,500	109.6
アドフィード等	7,988	7,900	98.9
プロサイリン	5,893	5,800	98.4
リピディル	4,194	4,300	102.5
フィブラストスプレー	3,946	4,100	103.9
エブランチル	2,052	2,200	107.2
ジェネリック医薬品計	7,852	9,000	114.6

- アルツ
「変形性膝関節症」への疾患啓発活動を継続し、市場の拡大を押し進める
- アドフィード等
多様なラインナップと優れた使用感を訴求し、市場への浸透を図る
- セプラフィルム
消化器外科、産婦人科への各種使用方法の提案により、浸透率を上げる
- リピディル
12月のリピディル錠の新発売にともない、更なる拡大を図る
- フィブラストスプレー
皮膚科、形成外科、救命救急の更なる普及を図る
- ジェネリック医薬品
11月に3品目の発売を予定

大株主一覽表(2011年9月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
1	東レ株式会社	4,589	4.5%
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,544	4.5%
3	株式会社みずほ銀行	4,086	4.0%
4	農林中央金庫	3,686	3.6%
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,467	3.4%
6	日本生命保険相互会社	1,700	1.7%
7	科研製薬従業員持株会	1,607	1.6%
8	メロンバンク エヌイー・アズ・エージェント・フォー・イツ・ク ライアント・メロン・オムニバス・ユー・エス・ペンション	1,513	1.5%
9	共栄火災海上保険株式会社	1,248	1.2%
10	秋山 信夫	1,100	1.1%

※自己株式数: 13,480千株

